

人や地域を豊かにしているだけでなく、ボランティアは自分自身を豊かにする

～ 各センターのコーディネート事例をご紹介します ～

千葉センター
北田



はじめの一歩のお手伝い

やってみたい気持ちを大切に
にして、地域活動参加へ
のお手伝いをしています。やり
たい活動ができた時のボラ
ンティアの目の輝きが、何よ
りも嬉しいご褒美です。ボラ
ンティアの温かい気持ちが
地域を豊かにすることを実
感しています。

地域食堂「みんなのテーブル」

一人ひとりが役割を担って集いの場をつくる

コロナ禍で中止になっていた地域食堂が、この1月
から再開。ボランティア募集には38名の応募がありま
した。いろいろな人と一緒に調理する、参加者と話し
をする、会場の準備をする、後片付けをする、キッチン
の掃除をする…。参加者もボランティアも、美味しい
食事と楽しい会話に笑顔が絶えません。ボランティア
の一人ひとりがいるからこそ
開催でき、人とのつながりを
実感する地域
の居場所にな
っています。



私が出会ったボランティア

コロナ禍でもボランティア

長年、プロの先生の指導で植物画
を描いているIさん。

♥♥コロナ禍で仲間と一緒に描く
ことも、展覧会への出品も中止
になりました。家に眠っている
絵を活用してくれませんか？

…の相談に、早速コーディネート。
風の村いなげの玄関ホールなどに
絵を飾らせてもらい、多くの人に
楽しんでもらう…これもボランティ
アです。施設からも部屋や玄関ホ
ールが明るくなったと好評です。

柏センター
竹中



その人自身を豊かに！

何をしたいかはっきりとして
いない場合には、「なぜボラ
ンティアをしたいと思ったの
か」直接会って丁寧に聴き
取ります。本人や受け入れ
先での出会いとつながり
が、その人自身や地域を豊
かに元気になっていると思え
ることがやりがいです。

算数教室「単元王」

小学生への学習支援

「コロナ禍で不登校や学力の低下が増えている」との
元小学校教師の思いを受けて2021年11月から開始。
現在は元小学校教師3名が講師として、近隣に住む3
名が見守りとマル付けとしてボランティアをしています。

年度初めに単元ごとのミニテスト1万枚を準備して、
2年生のレベルからスタートします。講師が一人ひとりの
状況に寄り添い、マル付けのボランティアも励ましなが
ら進めているので、
「算数がわかるようにな
った！」とうれしい
声が届いています。



私が出会ったボランティア

生き方に影響したボランティア経験

HP から相談があった大学生。入
学以来、講義もほとんどオンライ
ンで、3年になって人との関わり
が必要だと思い、施設での傾聴や
地域の居場所などでのボランティ
アを体験しました。

♥♥人と関わることの楽しさ・やり
がい、家族でもない、友だち
でもない、でもほっとする。こ
れからの人生で、自分は何を
大切にしたいかがわかった。

…と教えてくれた彼女が選んだ仕
事は不動産の仲介。「人生に寄り
添う仕事だから」と。

八街センター
冨永



人の数だけ宝物あり！

そう心に留めて、出会う方
の思いをじっくり聞きます。
「その方の思いがお宝」
「その方の地域情報がお宝」
情報や人脈のアンテナを総
動員して、その方の希望が
叶うよう一緒に歩いていき
ます。

フードパントリー

必要とする家庭に食材を届ける

「風のロッジだれでも食堂」で活動していたボランティ
アスタッフが、継続して「フードパントリー」で活動してい
ます。食堂の活動ではなかなか見えなかった貧困や親子の
問題、お願いしたルールを守らない親に対して、最初はどう
対応したらよいか戸惑いました。でも地域を知り、自分の
価値観と向き合うチャンスととらえて、一緒に悩み話し合
いを重ねました。最近ではスタッフそれぞれが住んでいる
地域に目を向けて、必要な家庭に食材を届けたり子供会
スタッフに呼び掛けたりしています。彼らが地域を変えて
いくと信じています。



◀手にしているのは、食材と一緒に
配布する栄養満点おにぎり

私が出会ったボランティア

障がい者のボランティア

数年間、「高次脳機能障がい者
のボランティア活動」を支援しま
した。受入施設、CO、活動をサ
ポートするボランティアが医療機
関と連携して活動を進めました。

♥♥いつもは「すみません、お世
話になります」と言うのが当
たり前の日常の中で、人か
ら「ありがとう、楽しかった
よ」と感謝される場面がとつ
ても新鮮で嬉しかった。私は
障がい者Aではなく、Aの特
性の一つが障がいなだけ。

…という言葉が印象的でした。